「安心」を支える消防をめざして

たんごの風

消防広報

vol.16

特集・・・新指令システムの現状

消防レポート2002

火災・救急・救助は

119

（携帯電話も同じです）

指令システムの現状

信頼をつなぐかけ橋に

昨年3月に新しくなった指令システムが動き出して一年が経過しました。この指令システムには、素早く災害場所を特定する「地図検索装置」と発信地表示装置」、火災などの際に消防団の方の携帯電話へ「次点広報文をメール送信するシステム」、高齢者世帯に設置されている「緊急通報装置からの通報を受信する機能」などの機器が装備されています。運用開始からの現状をまとめ、この一年を振り返りたいと思います。

鳥取小のみなさん

「わたしは、指令室に行った時いろんな物があってびっくりしました。もし消防署にうその電話をしたらみんなの迷惑になるとわかりました」
（弥、鳥取小　味田夏南美ちゃん）

豊栄小のみなさん

「通信指れい室に地図の写真があってそれで火事の所を見るのがわかりました」
（丹、間人小　亀田泰宏くん）

大宮第１小のみなさん

「すごいと思ったのは通信指令室です。指令室は電話をかけるとすぐにその地図が出るなんてすごいと思いました」
（弥、鳥取小　安達太一くん）

指令システムへの疑問

Q 出動が早くなったの

A 119番通報を受けると、通報場所が画面表示されるシステムなどにより、素早く災害地点を特定することができます。

しかし、通報の第一歩はあなたの一言からはじまります。一方的に伝えるのではなく、こちらの質問に落ち着いて答えて下さい。

Q 携帯電話からでも通報できるの

A できます。携帯電話はどの場所からでも通報できる一方で、音量の小さいケースも多く、正確な場所の確認に時間がかかっています。

携帯電話からの救急要請は、昨年一年間で162件あり、通報の9%を占めています。

Q 救急車は電話から家に来るまで何分ぐらい

A 丹後管内の平均時間は8分30秒ぐらいです。119番通報すると、コンピュータを使った一連の操作の自動化で、確実に災害現場まで駆けつけることができるようになりました。

救急車が来るまで、この8分30秒を無駄にしないためにも積極的に救急講習会に参加して応急処置を学んでください。

Q 119番通報は年間に何件あるの

A 昨年一年間で2732件の通報があり、その内には、いたずら72件、問い合わせ457件、間違い219件、不明（応答なし）126件がありました。

いたずらのため電話回線がふさがっていると、必要なときにつながらない恐れがあります。絶対にやめてください。

表紙写真：春の火災予防運動週間の中で、今年は峰山高校を卒業されたばかりのかわいい3人の方が、一日女性消防官として、火災予防のPRや、消防署の勉強・体験をされました。（左から井本久美子さん、田中　薫さん、中村香織さん）

さらに早い災害情報

火災などの災害を、防災行政無線で住民の皆さん（お知らせし、また、登録されている消防団員さんの携帯電話にメールで配信するなど、確実に災害情報をお伝えできるようになりました。

今までに比べ、気象条件等でサイレンが聞こえにくい地域や町内を離れていた場合でも、災害の発生を確認でき現場に出動できるといった声も多く、また、場所がわからずに消防署に問い合わせの電話が殺到して対応に追われたりすることもなくなりました。

これは住民の皆さんに対し、正確な災害情報を確実にお知らせできている証だと思っています。これからも、より早く確実に災害情報をお伝えしてゆきます。

メールがおそい

火災が発生した場合、そこの町の消防団員さんで希望された方に消防署からメールを配信しています。その中で、メールが遅い・こないということをよく聞きます。

このメール配信はグループごとに行っています。その中で一人でもアドレスを変更すると、そのグループ全体の配信が止まったり、後回しになります。だから、遅くなったり、こなかったりするのです。

アドレスを変更した場合は、一刻も早く班長等連絡して消防主任が取りまとめ、消防署管理課まで連絡してください。そうすることで、メールが遅いといったことはなくなります。

無言のうったえ

先日、網野町から緊急通報装置による通報があったのですが、通報は無言で呼び返しには返事がありませんでした。

直ちに救急車が出動し家に駆けつけてみると、おばあちゃんが部屋で倒れていました。おばあちゃんは風呂に入ろうとした際にドアの所で転倒。腰を打ちつけ動けなくなってしまったため、助けを呼ぼうと携帯していた緊急ペンダントを押していたのでした。

この通報装置のおかげで、無事おばあちゃんを病院に救急搬送できました。

迅速な対応

一人暮らしのお年寄りや体の不自由な方が、ボタンひとつで消防署とつながる緊急通報システムが導入されて今までの通報件数は29件で、その内出動した件数は19件でした。

この緊急通報システムは、通報者本人の意識不明など容態の急変した場合や、慌てていて明確な通報ができない際に、発生場所を特定するという一番重要で、時間のかかる作業を素早く行うことができます。

また、峰山町の緊急通報システムの協力員さんは、自主的に救急講習会を計画し受講され、地域ぐるみで福祉に取り組んでおられます。

この取り組みは「何かあった時いち早く現場に駆け付ける私たちが、救急車の到着までに出来ることはないか」ということから始まったものです。

協力員さんの救急講習会（峰、新町公民館）

高齢者世帯や体に障害のある方などは、緊急事態となった場合、どうして人に伝えるかなど、深刻な不安を常に持っておられます。

私たち消防署は、これらの緊急通報システム等の設備を通し、人と人の繋がりで、安心して暮らせる社会をこれからも支えていきます。

指令室員より

119にかけたらあんなとこにいくとはおもいませんでした

長岡小学校　中西　凉くん

あんなとこの通信指令施設は峰山消防署の2階の奥にあります。

たくさんの機械が並び、しかめっつらした指令室員が椅子に座って、モニターとにらめっこをしています。

私達は皆さんが安心し、快適に生活を営めるためにも、この通信システムが信頼をつなぐかけ橋となるようこれからも努力します。

消防レポート 2002

火災・救助ともに増加

平成14年の火災 救急 救助の統計がまとまりました。前年に比べ火災 救助ともに増加するなど災害の多い年となってしまいました。今年は災害をゼロにする気持ちで、今まで以上に災害の予防に頑張っていきましょう。

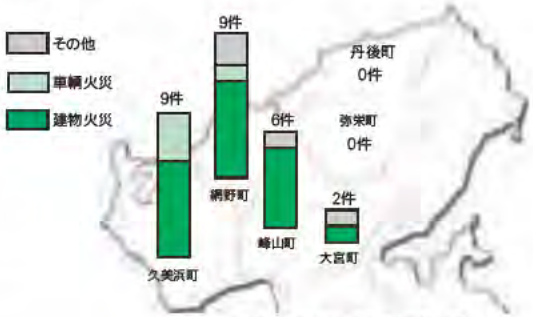
火災 注意忘れて 火災増加

火災件数は全体で26件、内訳は建物火災が18件、車両火災が5件、その他の火災が3件となりました。また、町別では表1のとおりです。

前年に比べると、火災件数は増加していますが、林野火災は無くなり、焼損面積・損害額はともに大幅に減少し、火災による負傷者も6人と減りました。しかし、死者は前年と同じく1人発生しています。

出火の原因について、建物火災では依然として天ぷら油の火の消し忘れや、タバコの火によるものが多く、いずれも注意していれば防げる事例ばかりでした。また、中には放火によるものもあり、世情を反映してか丹後だけでなく全国的にも、放火や不審火が増えています。家の周りを整理整頓し、倉庫や車庫に施錠するなどの用心をして、放火されない環境を作っていきましょう。車両火災では交通事故や整備不良からによる出火がありました。

消防署では今回の結果をふまえて、今年は被害だけではなく火災件数を減らすことを目指し、消防フェア・防火座談会・消火器の取扱い講習などを行っていますので、みなさん積極的に参加して知識を学び、技術を身に付け、家庭だけではなく地域全体で火の用心を心掛けてください。



町別の火災件数（表1）

救助 消防 事故を防ごう 安全運転

救助件数は前年より5件増えた44件で、内訳は火災が1件、交通事故が29件、水難事故が1件、機械事故が2件、その他の事故が11件になり、救助した人の数は28人となりました。

全体の半数以上は交通事故によるもので、救助活動も事故により身動きができず車内に閉じ込められたための救助がほとんどでした。

水難事故では、遊泳中、高波にさらわれるなどの救助活動がありました。

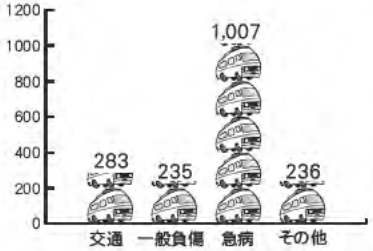
昨年は救助出動が過去最高となり、交通事故も過去最多と並んでしまいました。このように増加する事故を防ぐには、住民一人一人が安全運転を心掛け、事故をおこさない気持ちを持つことが大切です。

救急 いつもと違ったら 要注意

救急件数は1761件、搬送した人数は1724人でした。一日当たり約5件救急出動したことになり、件数は平成4年以来、2度目の減少となりました。

種別では、急病（1007件）、交通（283件）、一般負傷（235件）、その他（236件）と、依然として急病で搬送される方が多いことがわかります。（表2参照）

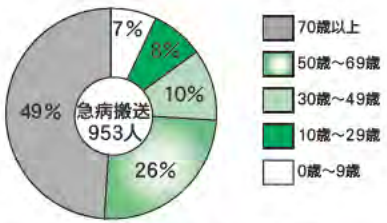
次に、最も多い急病に関して年齢別に考えてみました。60歳以上、特に70歳以上の高齢者の割合が多く、合わせると全体の約75%を占めています。この傾向は高齢社会が進むと共に益々増加していくと思われます。（表3参照）



種別出動件数（表2）

丹後では60歳以上の方でも畑や田んぼに出て、元気に農作業しておられますが、暑い時や寒い時には無理をせず、健康管理に十分注意してください。

また、高齢者だけでなく子供の救急も注意が必要です。子供は自分の意思をうまく伝えることができないため、どこが痛いのか、どうしてほしいのかが分かりづらいものです。そういったとき、慌てないためにも、消防署では救急講習を行っています。外出先で、家の中で、どこでバイスタンダー（その現場に居合わせた人）になるか分かりません。その時の勇気ある行動で、助かる命がたくさんあることを知ってもらい、今後に役立てていただけるように救急講習をぜひ受講してみてください。



年齢別の急病搬送人員（表3）

まとめ 協力して より住みやすく

昨年も様々な災害や事件が発生しました。私達職員も人災または、大地震などの大規模災害に備え、火災・救急・救助の訓練を重ね、迅速かつ確実な活動に努めます。

皆さんも、災害は他人事と思わず、常日頃から家族の、近所の、会社での協力体制を整えて、より住みやすい街づくりを目指しましょう。

救急一口メモ 救急隊員からのお願い

当消防本部では救急車の到着に平均8分30秒必要です。傷病者、家族（関係者）にはとても辛く長い時間ですが、この貴重な時間にバイスタンダー（家族、関係者等）が適切な応急手当や詳しい内容を通報することで、後の傷病者の状態が大きく左右されます。

救急救命士
小森　英志

1. 119番通報時、落ち着いて「いつ、どこで、だれが、なにを、どうしたか」を伝えて下さい。
2. 応急手当をして下さい。
   (1)大出血←止血手当
   (2)意識障害←気道確保
   (3)呼吸感じない←人工呼吸
   (4)心臓マッサージ←成人15：2（2は人工呼吸）、小児・乳児5：1（1は人工呼吸）
3. 救急車のサイレン音が聞こえたら誘導をお願いします。
4. 傷病者の状態（大出血、意識、呼吸、脈拍）および変化を出来るだけ詳しく救急隊員に伝えて下さい。

以上のことを119番通報時や、救急車が到着するまでに行って下さい。

文化財を守ろう

文化財防火運動週間中に、文化財を火災などの災害から守るため、お寺や神社の関係者と消防署・消防団との合同消防訓練が行われました。

フォトキャッチ

1/26
竹野神社（丹後町）

2/16
住吉神社（大宮町）

2/21
持ち上げるので精一杯（弥栄町の小学生）

2/6
何に使う道具なの（久、海部小）

2/6
暗やみと火事の煙のこわさを体験（網、三津小）

たくさんの小学生が消防署に見学や体験に来てくれました。

1/27
放水準備完了（峰、五箇小）

1/23
おもてぇ～（大宮第3小）

一日女性消防官

3月3日に峰山消防署では、今年峰山高校を卒業されたばかりの3人の女性を、一日女性消防官としてお迎えし、消防官の仕事を体験していただきました。消防官になった気分はどうでしたか。

気を引き締め、一日の始まりです

井本 久美子さん

田中 薫さん

中村 香織さん

放水訓練も体験

救命法も学びました

ケイレイ！

救助工作車が来た

今後、多様・複雑化する救助災害に対応するため、ウインチやクレーン、油圧カッター、有毒ガスから身を守る『化学防護服』、冬場でも潜水可能な『ドライスーツ』、車両火災に効果のある『超高圧噴霧消火装置』などを装備した救助工作車が峰山消防署に配備されました。

総重量は約10tで、総額は7,297万5千円です。

4月1日から運用を開始し、丹後でおこるさまざまな救助災害に出動します。

スキューバ道具一式

さまざまな救助資機材

化学防護服

消防の広場

丹後広域消防組合 消防本部
消防長 上田 賢

（丹後6町で組織され、管理者は峰山町長）

（職員数消防長以下　93名）

峰山消防署
署長 中西定征　Tel.62-0119

本署

消防課
- 課長 浅田武士　Tel.62-0119
- 庶務
- 指令室 室長（消防課長兼務）

予防課
- 課長 藤原義幸　Tel.62-5119

消防1（課長補佐）才本 茂
- （係長）横山文明
- 吉岡日出圭
- （主任）増田 淳
- 永岡 晃
- 山下良之
- （係員）大澤友成
- 中西孝文
- 大森 茂
- 池本清一朗
- 松本欣也
- 山本景一
- 今井大祐

消防2（課長補佐）吉田件昨
- （係長）山添敏弘
- 上田一朗
- （主任）金子博文
- 小西圭介
- 和田英樹
- （係員）中村 猛
- 岩田善雄
- 矢谷正利
- 松本 努
- 日下部宣仁
- 富田 良
- 木村好宏

（係長）（消防課長兼務）
- （係員）堀江正男

副指令室長 河村安英 / 松本正紀
- （係長）濱野泰一
- 芦田重行
- （主任）井上一彦
- 池田弘幸
- 吉岡 稜
- 辻 正男
- 中西直行

（課長補佐） 奥田直人
- （係長）吉岡 浩
- （主任）廣野克巳
- （係員）中山晶夫

網野分署
分署長 安達保男　Tel.72-0119

副分署長 井上健仁郎（予防（日勤））／西村 均（警備2係）

警備1係
- （係長）坂井和正
- （主任）安田直樹
- 田家彰浩
- （係員）木下哲也
- 岩瀬章二
- 井上忠司
- 船越 昇

警備2係
- （係長）中村一隆
- （主任）梅田雅弘
- （係員）田宮恭志
- 中西彰彦
- 辻村昌宏
- 藪下茂幸

久美浜分署
分署長 辻 正則　Tel.82-0119

副分署長 末次正博（警備1係）

警備1係
- （係長）副分署長兼務
- （主任）中西則昭
- 沖田 護
- （係員）金久昌和
- 荻野寿彦
- 平井信也
- 指田 竜

警備2係
- （係長）大下佳宏
- （主任）吉岡 寛
- 川戸一太
- （係員）村野二郎
- 木村雅弘
- 吉岡徹也
- 野村和孝

竹野川分遣所
所長 滝野德行　Tel.75-0119

副分遣所長 上田幸二（警備1係）

警備1係
- （係長）副分遣所長兼務
- （主任）小森英志
- 中田和之
- （係員）安井英人
- 山本秀之

警備2係
- （係長）吉岡昌俊
- （主任）渡邊登世浩
- 山添勝弘
- （係員）北垣 勝
- 木下夢大

消防本部
次長 久下一雄　Tel.62-8119

管理課
- 課長 次長兼務
- Tel.62-8129
- （課長補佐）松尾秀行
- （係長）河野矢 秀

総務課
- 課長 谷口幸作
- Tel.62-8119
- （課長補佐）小牧文麿
- （係長）安川郁夫
- （係員）浅田智成

消防長
上田　賢

4月1日付けで消防長を拝命しましたが、任務の重大さを痛感しております。住民の方々が安心して暮らせる災害に強い地域を目標に、地域に根ざしながら、時代の要請に応じた業務を行っていくため、頑張っていきたく思っていますのでよろしくお願い申し上げます。

普通救命講習会

5月11日（日）
13時30分から16時30分まで

- 場所　峰山消防署 講堂
- 申し込み　平成15年4月21日（月）から平成15年5月9日（金）まで
- 予定人数　先着30名 参加無料
- 問合せ先　峰山消防署 救急係まで Tel 62-0119

NEWフェイス

消防士
木村 好宏

昨年の春から約10ヶ月消防学校に入校し、4月から現場に配属となりました。

強い使命感をもって日々訓練に励み、丹後のために頑張ります。

編集後記

丹後だけでなく、全国的に放火や不審火が増えています■不景気など社会的背景が」と言ってしまえばそれまでですが、これによって失われる命や物的損害のことを思うと、考え込まざるを得ません■防火は心がけが可能だけれど、放火という悪意に対しては自分だけの用心にも限りがあります。放火を許さない」ことをテーマにみなさんと共に考える特集を組みたいと広報委員会で話しています。

お知らせ

消防署へのお問い合わせは office@119tango-kyoto.or.jp でも受付けております。
このメールアドレスは火事や救急などの119通報には利用できません。

発行/丹後広域消防組合　〒627-0011 京都府中郡峰山町字丹波826-1 TEL 0772-62-0119 Fax 0772-62-6119
編集/丹後広域消防組合広報委員会（総務課内）TEL 0772-62-8119
たんごの風 第16号
2003年4月1日発行（年4回発行）